

中小企業あきた

- 1 ロンドンで川連漆器をアピール 1
～現地の卸売業者2社と取引仮契約～
- 2 働き方改革関連法での改正点について 2

○景況レポート 10月分 4

- 話題の広場
中央会事業より 6
アラカルト 7
新設組合紹介 7
インフォメーション 8
支援団体活動レポート 9
中央会職員コラム 10

12
DECEMBER.2018



TOPICS 1 ロンドンで川連漆器をアピール ～現地の卸売業者2社と取引仮契約～



【ロンドンのレストランで提供される料理と川連漆器】

秋田県漆器工業協同組合(佐藤慶太理事長)では、今年度、「ヨーロッパにおける川連漆器のブランド力強化と販路拡大事業」が、あきた企業応援ファンド事業に採択されたことを受け、川連漆器を海外に売り込む取組を実施しています。9月8日(土)から一週間の日程でイギリス・ロンドンを訪問、日本食器専門の卸・小売業者、日本産品を取り扱う卸業者から現地の食器事情について情報収集を行い、現地の関係者の仲介でPR活動を展開したところ、ミシュラン三つ星のモダンブリティッシュレストランを含む3店舗で商品約40アイテムが試験的に採用されることになりました。

モニター店舗であるスパニッシュタパスレストランの経営者からは、「とても使いやすい」、「お重はお客様のテーブルに運んでから開けるサプライズ効果もあり、喜んでもらえる」、

「赤や黒の器は料理やソースに合わせやすいので見た目が良い」と好評で、店内でお重で提供された料理に驚き喜んだ女性グループの様子も目の当たりにしました。

具体的な輸出量についてはまだ未定ですが、卸売業者2社と輸出に向けた取引仮契約に至りました。当組合は、昨年度はパリでPR活動を行っており、一定の効果が得られましたが輸出までに至りませんでした。佐藤理事長は「シェフの自由度が比較的高いロンドンでは手応えを感じているが、現地の飲食店は食洗機を使うことから、その対応が指摘されている。現在、学校給食向けに食洗機対応の漆器開発を進めており、その成果を活かしたい。また、現地での漆器自体の認知度向上にも取り組んでいきたい。」としています。